

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

9月13日（火）午前10時～

1	田 中 孝 一	議員	（60分）
2	児 玉 悦 朗	議員	（60分）
3	和井内 貞 光	議員	（60分）

9月14日（水）午前10時～

4	黒 澤 一 夫	議員	（60分）
5	倉 岡 誠	議員	（60分）
6	田 口 裕	議員	（60分）

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
9月13日（火）	田中孝一 （60分）	休憩 10分間	児玉悦朗 （60分）	休 憩	和井内貞光 （60分）	
10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
9月14日（水）	黒澤一夫 （60分）	休憩 10分間	倉岡 誠 （60分）	休 憩	田口 裕 （60分）	

平成28年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	1	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 地方創生について (1) 交流及び定住人口の拡大対策について (2) 街づくりについて (3) 地域おこし協力隊について				① 地域資源の活用による交流人口と定住者人口の拡大対策は総合計画のプロジェクト2で計画しているが、今後さらに重点的に推進する計画はあるのか伺う。	
				② 移住者相談窓口や情報発信を増やす必要があると思うが、どのように考えているか伺う。	
				① 本市の拠点性の維持を目指すことから、快適性・利便性、交通アクセスを向上させ市街地の賑わいを創出するとしているが、花輪駅前開発、コモッセを中心とした市街化道路網も計画的に進められており、早期の実現するとともに、商店街の活性化は厳しい状況にあり、今後の活性化をどの様に推進するのか伺う。	
2 農業振興について (1) 減反政策の廃止について (2) 農業生産法人について (3) 農業従業者及び担い手について				① 地域の活力を生む方策として地域おこし協力隊の事業を実施しているが、任期終了後の定住の状況及び収入確保の課題はどのような状況にあるのか伺う。	
				① 2年後の減反政策の廃止に伴う稲作経営の方向は全く不透明な状況にあるが、これまでの多様な本市の立地条件を生かした複合経営の推進策を強化する必要があると思うが、今後の取り組みについて伺う	
				① 管内で組織されている農業生産法人の経営状況を市としてどのように把握しているのか、また今後組織の拡大は重要と思われるが、それに向けた推進方策について伺う。	
				① 少子高齢化に伴う行政運営は今後すべての面で厳しくなるのではと思うが、農業は食糧の生産を担う最も大事な産業であり、担い手となる農業従事者の減少は著しく、その対策をどのように推進するのか伺う。	

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(4) 中山間地域等直接支払い事業及び多面的機能支払い交付金の取り組みについて			① 中山間事業は平成 12 年度から 5 年間隔で見直しをしながら実施されているが、当市の実施されている状況について、また平成 25 年度からの多面的機能支払い交付金の当市の取り組み状況はどのような状況にあるのか伺う。		
(5) 鳥獣被害について			① 今年には熊の異常な出没で人身被害や農作物の被害がこれまでに数多くの情報が出されている。昨年までは人身被害を聞くことはなかったと思うが、今年的人身事故の発生は異常な状況である。熊の餌となる木の実の状況により増加していると言われるが、人身事故や農作物の被害防止対策の情報発信等を強化する必要があると思うが、市としてどのように対応していくのか伺う。 ② 熊以外のその他の鳥獣類等による被害は無いのか、状況について伺う。		
3 福祉対策について					
(1) 予防検診及び医療費について			① 当市の死亡割合 1 位はがんの 25.8%、2 位が心臓病の 19.3%、3 位は脳疾患の 15.5%とされているが、国民健康保険の医療費負担は年々増加傾向にあり、今後団塊世代の後期高齢者年齢が数年後に迎えるが、健康寿命と合わせて予防検診による医療費の抑制策の情報発信を密にする必要があると思うが、市の考えについて伺う。また医療費の推移の状況について伺う。		
(2) 健康寿命について			① 高齢者の健康生活意識の向上を図り、健康寿命推進運動は大事であると思うが、市の考えについて伺う。		
(3) 認知症について			① 厚生労働省の発表では 2025 年に認知症を患う人の数は 700 万人を超え、65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症に罹患すると推計し、また近年若年認知症も増加傾向にあるとされる。市としても総合戦略の中で健康生き生き長寿社会プロジェクトを重点として構成している。市としても認知症予防対策への情報発信を密にする必要があると思うが市の考えについて伺う。		

平成28年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(4) 介護について				① 政府の推計では 2050 年には 1 人の若者が 1 人の高齢者を支えなければならない時代となると予想されている。介護する人の支援策として地域包括センターが今年度新たに増設されたが、今後の超高齢社会を予想した場合の介護対策をどのように考えるのか伺う。	
4 職員の人材育成について				① 市職員の人材育成には各専門部署において研修を重ねてやる気を出すような環境づくりをしていると思うが、これまでの市の金銭的な不祥事には市民も不思議に思っている。マニュアルを作成してそれに基づいて管理していくとしているが、今一度規律を正した厳しい環境づくりが必要かと思うが、どのように考えているのか伺う。	
5 文化の杜交流館コモッセについて				① 昨年 4 月にオープンした文化の杜交流館コモッセは利用者数が当初計画を大幅に上回る実績となったが、今年度の利用者数は昨年同期と比較して、どのような状況にあるのか伺う。またそれぞれの機能を持っている各施設の利用状況について伺う。	

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 本市敬老会について					
(1) 敬老会の会場変更と結果について			① 今年度の敬老会の会場を変更した経緯と、今年度の結果をどのように総括しているか伺う。		
(2) 来年度以降の敬老会のあり方について			① 来年度もコモッセを会場に実施する予定なのか、変更する可能性もあるのか伺う。		
2 十和田八幡平国立公園について					
(1) 十和田八甲田地域指定 80 周年・八幡平地域指定 60 周年の記念事業及びその効果について			① 十和田八幡平 8060 キャンペーンなど、さまざまな記念行事が行われていると思うが、これまでのゴールデンウィークや夏場の成果と、これからの紅葉シーズンや冬場の取り組みについて伺う。また、来年以降の継続した展開について伺う。		
(2) 「国立公園満喫プロジェクト」のモデル地区として今後の進め方について			① 外国人観光客の誘致強化に向けて国立公園をブランド化するモデル地区として指定された。今後、市としてどのように取り組みを進めていくのか。また青森県、岩手県とどのような連携を図っていくのか伺う。		
(3) 台湾からの観光客の誘致について			① 県の観光統計によると、最も多く秋田県を訪れているのは台湾からの外国人観光客である。先般、市長もトップセールスを行ってきているが、インバウンドの受入れ環境の整備やツアーメニューの開発等、どのように進めていくのか伺う。		
(4) 本市の観光情報の提供について			① 観光客受け入れのためのセミナーへの職員の派遣を行っているのか。また、公衆無線 LAN 環境の拡大について伺う。		

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3 葛飾区との交流について (1) 協定締結のメリットについて			① 本市と葛飾区がそれぞれ魅力や特性を生かして連携・協力することで、相互の発展と魅力ある地域の形成に寄与することを目的として協定の締結を行ったと理解しているが、この協定のメリットについて伺う。		
(2) 今後の交流について、また期待される波及効果について			① 40 年以上におよぶ四つ木地区との交流のみならず、葛飾区との交流や連携を行ってきたが、さらにこの締結を行ったことで、今後どのような展開が考えられるか。また、どのような波及効果が期待できるか伺う。		
4 熊被害について (1) 熊被害の現状と対策について			① 今年の被害状況について、観光面、農作物、人的被害防止策について伺う。		
(2) 近隣市町村との連携について			① 近隣市町村との連携について、会議など連携強化を進めている旨の報道はあったが、具体的にどのような協調活動を計画しているのか伺う。		
5 鹿角市立学校再編計画について (1) 遠距離通学の対応について			① 相当な数のスクールバス、スクールタクシーの台数、待合所の設置が必要だが、どのような計画になるのか、また、徒歩で通学する場合の歩道の整備箇所の確認も必要と思うが、今後の計画を伺う。		
(2) (仮) 鹿角市学校給食センターの施設建設工事について			① (仮) 鹿角市学校給食センターの施設建設工事が平成 30 年には行われると思うが、建設場所は決定しているのか。また、建設費はどれくらいか伺う。		

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	和井内 貞光	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 市が被告として争われている 2 件の行政訴訟について (1) 平成 25 年度に発覚した市税徴収の不適切事務処理に係るその後の処理と、この件に係る損害賠償義務付け等請求に係る訴訟について			① この件については、平成 20 年度から 24 年度までの間で、市税滞納処分での不適切な事務処理が行われたとすることについて、時効成立以前に誤って不納欠損処理したとする 1 億 4,154 万 3,473 円のうち、再び徴収可能な 9,516 万 9,095 円について、徴収を復活するとした件について、その後の事務処理、徴収状況について伺う。 ② 訴訟については、市税徴収を怠る行為による損害賠償義務付け等請求事件とされている訴訟とされているが、どのような損害賠償義務が求められているのか、訴訟に係る一連の内容について伺う。		
(2) 大湯環状列石環境整備事業に関する損害賠償請求事件について			① 本件については、市長、副市長に対し損害賠償が求められていると伺っているが、どのような内容か伺う。 ② 訴訟による関連費用が必要となると思うが、関連予算はどのように予算措置されているか伺う。 ③ 市が訴えられるということは、あまり感心したものではないが、解決策を探るなどの方法はないのか伺う。		
2 観光戦略について (1) 外国人観光客誘客について、トップセールスの期待される効果について			① これまで数度に渡るタイ、シンガポールへのトップセールスの成果と、本年度の県内 10 市町村合同での台湾への広域的な P R 活動について、今後の期待される効果について所見を伺う。		

平成28年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	和井内 貞光	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(2) 大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村で構成するDMO広域観光連携への参加について				① 現下の観光戦略を論ずるとき、広域連携の戦略は欠かすことができない事項であり、国でもそのように推奨している。特に近隣自治体との広域連携を視野に戦略を進めるべきで、私は大館市、北秋田市、小坂町等のDMOとの連携は本市の観光戦略には欠かすことができないものであると思う。この際、このDMOへの参加をぜひ検討すべきと思うが、考えを伺う。	
(3) 観光産業確立計画の中の記述に「きりたんぼ発祥の地」の冠を前面に出すのではなく、との記述があるが、この記述の見解について				① 「鹿角市観光産業確立計画」に、本市が発祥の地としている「きりたんぼ」は今やオール秋田で提供しており、「きりたんぼ」イコール「鹿角」のイメージの定着には至っていない。このため、発祥の地の冠を前面に出すのではなく、鹿角料理としての歴史にスポットを当て、新たな名物となるよう展開していきたい、と掲載されている。これでは、「きりたんぼ発祥の地」としての冠を取り除くとも解釈され、発祥の地として歴史に危機感を覚えることになるが、考えを伺う。	
(4) 「民話の里鹿角」「伝説の里鹿角」づくりを本市の観光戦略の大きな柱として推進すべき施策について				① 本市には、昔話が約 200、伝説が約 100、合わせて 300 ほどがあるといわれる。本市の観光客誘客の大きな柱としての存在価値は大変大きなものがあり、例えば「民話伝承館」の整備など、この昔話、民話、伝説を本市の観光戦略として大いに活用するべきと思うが、所見を伺う。 ② 「鹿角民話の会」「謡曲の団体」「郷土研究会」等との連携により、より大きな効果が期待される。行政として積極的に牽引戦略を図るべきと思うが、所見を伺う。	
(5) 本市の観光戦略の目玉事業「でんぱく」事業について				① 本市の観光戦略の中心事業として取り組んできた「でんぱく」について、これまでの成果と本年度の取り組みについて伺う。	
3 旧マックスバリュ跡地の「まちなかオフィス」事業について				① 投資経費総額と財源内訳について伺う。 ② 予定される事業の内容と、本市への経済効果、中心市街地への波及効果等、事業の成果をどのように捉えての計画なのか、詳細を伺う。	

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	3	質問者	和井内 貞光	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4 去る 7 月 16 日に発生した鹿角市を震源とする震度 3 の地震の詳細について			① 地震発生場所は大湯地域という風評があり、今後大きな災害につながる恐れが心配される。発生場所はどこなのか、どのような地震であったのか、また、今後も発生が予想されるのか、今回の地震の状況について伺う。		

平成28年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	「コモッセ」の利用向上と地域歴史文化の伝承への取り組みについて		① 沢山の市民の利用があり、よろこばしい状況だが、曜日や時間によっては空いている状況が見受けられる。さらなる利用の増大を望むが、その取り組みについて伺う。 ② 佐多六とシロなどの民話や昔からのすばらしい歴史文化、地域芸能等がたくさんある。活発な伝承に取り組むべきと考えるが、取り組みについて伺う。 ③ 地域商店街へのにぎわいへの寄与はどうか伺う。		
2	熊の出没に対する人命の安全対策と小中学生の通学時における安全確保の取り組みについて		① 熊の出没が続き、事故も発生しているが、熊の生態をどの様にとらえているか伺う。 ② 学校の近くや通学路を横断しているとの報告もあるが、児童、生徒の安全対策は十分に行われているものか伺う。 ③ 今後も出没が続くと思われるが、農作物の被害、人身への危害等、未然に安全対策、周知活動も必要と考える。今後の対応について伺う。		
3	市の天然記念物トゲウオの生息地の環境保全と「声良鶏」の飼育拡大への取り組みについて		① 花輪地内に生息する「トミヨ」と「イバラトミヨ」の生息環境保全について、これまでの取り組み、今後どの様に生息維持への取り組みを行うものか伺う。 ② 生息数の増減はどの様に変化しているものか。また、池内にある湧き水の量はどうか伺う。 ③ 生息環境保全のため地域農家等との連携を密にしなければならないと考えるが、どの様な対応をしているのか伺う。		

平成28年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位		4	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60 分	No.2
質 問 事 項					質 問 要 旨		
4 地方創生事業について					④ 声良鶏について (ア) 飼育羽数、飼育者はどの様に推移しているものか伺う。 (イ)「市の鳥」と位置づけていることから、人通りの多い場所、または広場等で飼育し、「見せる、宣伝する」ということも必要であると思うが、そのことについて伺う。		
					① 将来都市像「笑顔がつながり、活力を生むまち鹿角」であるが、先の台湾訪問を今後のまちづくりにどのように生かすものか伺う。 ② 地方創生事業は各自治体のアイデア競争でもあると私は考えているが、これまでの数度のトップセールスの成果をいかし、今後どの様な取り組みを展開して、第6次鹿角市総合計画に反映させていくものか伺う。 ③ 市の面積は変わらず、人口の減少は続くと思われ、土地、農地を活用した食糧生産産業の育成を図るべきと考えるが、まちづくり計画に位置付けているものか伺う。		
5 観光産業の振興と交流拡大について					① 市の特産品、加工商品や温泉、歴史を活用した施策はどの様に展開しているのか伺う。		
					② 地域の経済力、雇用の場確保のためには、さまざまな産業間の連携が必要と考えるが、どの様な取り組みを実施しているか伺う。		
					③ 市内各地の温泉、源泉の多様な活用検討をしているのか。また、どの様に今後取り組むものか伺う。		
					④ 広大な土地を活用した鹿角短角牛と小動物農場を開設して、産業振興を図るべきと考えるが、市の取り組みはどの様になっているのか伺う。		

平成28年第6回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	4	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6			安心して暮らせる市内医療体制の充実について	① 市内医療、病気対応において、病院、施設の充実を望むが、診療科目によっては医師がいない、診療科目がない等、不便を感じる状況も見受けられる。これらの改善の取り組みも急ぐべきと考えるが、状況について伺う。	
				② 国民健康保険で診療、受診している市民の中で、保険料の納付、医療費、通院のためのバス代、タクシー代等を要し、今後に不安を抱く方もいる。国民健康保険税がもう少し安ければとの声もたくさん聞くが、国民健康保険事業特別会計の運営状況と今後の税率の動向について伺う。	
7			旧高齢者生きがいコミュニティセンターの今後の活用方法についてと、高齢者生きがい政策の充実への取り組みについて	① 市民及び高齢者の生きがい活動の場として、斬新なイメージの施設が整備され利活用されてきたが、利用者が少ないということで現在は利用されていない。このことについて、これまでの生きがい活動への取り組みの成果について、どの様にとらえているものか伺う。	
				② 市内には旧町村毎に高齢者のための施設が整備されているが、今後もそのような方法で、この政策を進めるものか伺う。	
				③ 大湯地区へ地域包括支援センターを設置する予定としている場所は「旧ゆとりランド」を活用することであり、大変良い計画であると考えている。同じような考え方でこの高齢者生きがいコミュニティセンターを活用することを検討したらどうか、取り組みについて伺う。	

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	市長の政治姿勢・手法について			① 市長は、関係省庁訪問や市民と接する公式な場面以外に、公務の合間での突然の訪問や対話等を通じて、本市の印象を意識づけるための手立てや情報収集、役職を超えた信頼関係を構築するための手法をとる考えはあるのか伺う。	
2	ふるさと応援寄附金について			① 財政規模が小さく自主財源が限られている地方の小自治体にとっては、貴重な財源でもあり、移住・定住や交流人口の拡大による地域活性化や、地元品の流通拡大による産業振興にもつながる制度と好意的にとらえるべきかと思う。最近 3 年間の応援寄附金の使途について、各部局又は行政分野別に伺うとともに、具体的にどのような成果が生まれたのか、成果指標等の数値を交えた具体的な答弁を期待する。	
3	障害者差別解消について			① 今年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されたが、障害者の方々が、社会に守られ、社会に参画し、社会に貢献できることがしっかりと担保されるためにも、この法律が国・地方公共団体・民間事業者などが確実に順守・履行されることを心から願うものである。そこで、本市ではこの法律施行を受けて、どのような体制及び具体的な施策・事業を展開していくのか伺う。	
				② 法律では、障がい理由とする差別に関する相談や紛争の防止、解決の取り組みを進めるためのネットワークづくりの仕組みとして、地方公共団体の機関が、それぞれの地域で組織できる「地域協議会」が規定されているが、本市の考えはいかがか伺う。	
4	本市いじめ防止対策について			① 全国的にいじめに端を発した悲惨な事件が後を絶たない状況にあるが、いじめの加害者・被害者にならないための教育は大変重要である。学校現場での教育はもちろん、地域・集落や家庭での教育と一体となって、いじめ問題に悩む人間を包み込み、支え励まし、解決に導き、深刻な事態を絶対に回避しなければならない。そこで、本市での過去 3 年間のいじめ認知件数と解決状況又は未解決案件の実態について伺う。	

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分	No.2
質 問 事 項				質 問 要 旨		
5 「第2次かづのいきいきスポーツマスタープラン」について				② 秋田県では、9月定例議会に「県いじめ防止対策推進条例」案を提案する予定であるとの情報を得ているが、この案の中で、関係機関と連携した「県いじめ問題対策審議会」の設置が規定されている。こうした県の動向に合わせて本市ではどのような対応を考えているのか。市独自の条例制定や関連する施策を打ち出していく考えはないのか伺う。		
				③ 市内小中学校では、各校ごとに「いじめ学校基本方針」に基づき、どのような取り組みを行っているのか、また、統合が予定されている対象校同士での合同の取り組みを行っているのか伺う。		
				① 同計画施策の展開として、「スキーのまち・駅伝のまち鹿角」実現のために、スキー人口の底辺拡大を図るとともに、スキー・駅伝の競技力の向上を目指すとしているが、計画されている項目について、それぞれの具体的な推進施策をどのように進めるのか伺う。		
6 市役所周辺整備について				① 市役所周辺に給食センターを建設する予定であるが、それ以降の市役所周辺の整備計画はあるのか。官庁団地のように進めるのか。もし計画があるとすれば都市計画との整合性等をどのように図るのか伺う。		

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	田口 裕	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 観光対策について					
(1) 観光客の減少対応について			① 観光客の減少が続いているが、これまでの延長線上の取り組みでは好転は見込めないと思われる。専門プロジェクトを組むなど抜本的な取り組みができないか伺う。		
(2) 広域連携による営業活動について			① 旅行形態の変化やニーズに対応した広域連携によるメニュー提案と合わせた積極的な営業活動ができないか伺う。		
(3) 十和田八幡平観光物産協会の位置づけについて			① 十和田八幡平観光物産協会を機能合体した効果は出ているのか。位置付けを見直す考えはないか伺う。		
2 鹿角市公共施設等総合管理計画について					
(1) 更新費用の将来負担について			① 公共施設等の更新費用の将来負担が今後 40 年間、現在の 1.72 倍となるが、どのように対応していくのか伺う。		
(2) 新築公共施設の将来改修負担について			① 第 6 次総合計画期間（H23～32）の集中的な公共施設の新築は 30 年後に大改修として負担が重くのしかかることが想定されるが、どのように考え対応するのか伺う。		
(3) 維持更新費の確保について			① コスト面の課題としてあげている維持更新費の確保について、新たな財源の確保やコスト縮減が必要としているが、その具体策は何か。		
(4) 施設総量の縮減について			① 基本的な考え方として、保有施設総量の 5 %縮減の計画となっているが、具体的にはどの施設を想定しているのか。		

平成 2 8 年第 6 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	田口 裕	質問所要時間	60 分	No.2
質 問 事 項				質 問 要 旨		
3 地域医療について （１）地域医療構想について				① 病床数 32％減、在宅医療へのシフトが主眼となっているが、市民が安心して医療を受けられる体制となるのか不安と疑問がある。どのように対応していくのか伺う。		
				② 医療提供体制の現状と課題について、どのように取り組んでいくのか伺う。		
（２）医師確保対策について				① 現在、市内の医師充足状況はどうなっているのか。今後秋田県地域医療構想による県との調整はどうしていくのか伺う。		
（３）地域包括医療への取り組みについて				① 現在の取り組み状況と課題への対応はどうなっているのか伺う。		
4 交通網の整備について （１）国道 282 号花輪市街地の渋滞対策について				① 県の調査を待つて方向を決めるとしていたが、調査結果とその後の取り組みはどうなっているのか伺う。		
				② 市の考えを固め、国・県との本格的な要請、協議ができないか伺う。		